【事業概要】歩行空間における移動支援サービスに関する現地事業

ほこナビDPのバリアフリー施設等データ整備システム(構築中)を用いて、バリアフリー施設等データ整備仕様(案)に基づき、多様な主体の参画によるデータ整備・更新、オープンデータ化を実施。

概要

目的	効率的なバリアフリー施設等データの整備促進に向け、地方公共団体等を対象とした現地事業の実施により、データ整備等の運用方針やシステムの改良点等を整理する
実施事項	• 自治体等が保有している既存情報のシステムへの取り込み及び編集によるデータ整備 • 生成AIを活用した、トイレ、エレベーター等の写真からの設備情報の抽出によるデータの簡易入力
対象	• 地方公共団体 • 地方公共団体を構成員とする協議会
事業実施期間	2025年9月～2026年2月(予定)

検証事項

■既存の施設情報を用いたデータ整備

- 既存の施設情報等を用いて、データ整備を実施
- システムの機能性・操作性、日常業務において効率よくデータ整備するための工夫点等を確認

■写真からのバリアフリー情報抽出によるデータ整備

- 撮影した写真から設備情報を抽出するAI機能を用いて、データ整備を実施
- システムの機能性・操作性、バリアフリー情報を適切に抽出するための写真撮影における工夫点等を確認

現地事業でのデータ整備イメージ

PCを用いた事務所内でのデータ整備とスマートフォンを用いた現地確認とあわせたデータ整備の2種類を想定。

事務所内でのデータ整備（PC使用）

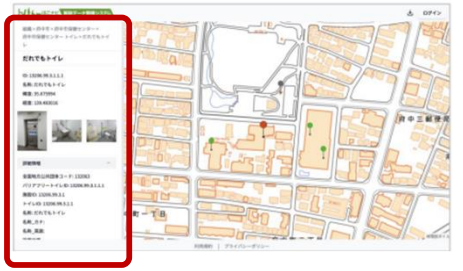
①既存の施設情報の登録

既存の施設情報
の取り込み

②AI画像解析によるバリアフリー情報抽出

車椅子使用者用トイレ
乳幼児用おむつ交換台設置トイレ
乳幼児用椅子設置トイレ……

③データ編集



画面入力による
データ編集

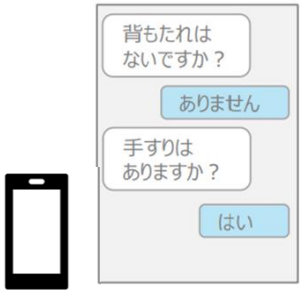
現地確認とあわせたデータ整備（スマートフォン使用）

①登録済み施設情報の確認

現在地の施設情報を確認の上、現地
確認と写真撮影

②AI画像解析によるバリアフリー情報抽出

車椅子使用者用トイレ
乳幼児用おむつ交換台設置トイレ
乳幼児用椅子設置トイレ……

③対話形式によるデータ編集

対話形式の質問に回答し、不足してい
る情報を登録